

2010年1月29日

シーメンス系、免疫検査の分析装置 少量の検体も分析容易

独シーメンスの診断薬・機器子会社のシーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス(東京・品川、コン・グリラキス社長)は免疫検査分析装置をこのほど発売した。

血液中にある特定のたんぱく質の有無などを調べ、病気にかかっているかどうかを分析できる。試験管にかぶせて使うカップを採用し、100マイクロ(マイクロは100万分の1)リットル以下の検体でも手間をかけずに分析できるようにした。新装置「イムライト 2000XPi」の価格は1台 2500万円としている。

分析装置は試験管に張り付けられたバーコードから患者の名前や測定項目などを読み込む。従来機種では吸引部分に届かせるため検体を小さな試験管に移しかえ、患者情報を手で打ち込む必要があった。

＝日経産業新聞＝